



[採用に関するお問い合わせ]

財務省

大臣官房秘書課

〒100-8940 東京都千代田区霞が関3-1-1
TEL.03-3581-4111 (内線5464)



MINISTRY OF FINANCE

財務省

総合職入省案内 2026





係長 × 係員

Special Interview

税・調査課インタビュー

キャリアパス

係 員

財務省職員として
必要な知識・ノウハウを学ぶ。

財務局／国税局／税関

係長／留学

係のマネジメントを行い、政策立案の
サポートを行う。

課長補佐

室長・企画官

課長・幹部級

入省したての1年間！

係長 Aさん、Bさん、今日はよろしくお願
いします！私たちの係には1年生が2
人いるので、いつもとても頼もしく思っ
ています！

この1年間で振り返ってみてどうだっ
たかを聞いてみたいのですが、いかがで
したか？

係員A 本当にたくさんの経験をさせて
いただいた濃い1年間でした！

主税局外国調査係の魅力は、1年目
でも担当国を持っていることだと思いま
す。例えば私はフランスを担当している
ので、フランスの税制については私が責
任を持たなければなりません。緊張感も
ありますが、フランス担当として幹部に
説明する機会も豊富で、やりがいや成長
を実感する場面が多いです。

一方で、税は世の中の様々な活動に関
わるため幅広い知識が必要なのですが、
私はマーケットなどの知識がまだまだ足
りていないと感じることも多く、今後さら
に勉強していきたいと思っています！

係長 Aさんはいつも丁寧にフランスの税
制を見てくれていて、気づいたところを
素直に意見してくれるところがとても良
いですよね。OECDのWP2（税に関する
作業部会の一つ）でAさんがパリに出張
していた時に、Aさんが日本代表として

発言する姿を、私はオンラインで日本か
ら見ていて、入省した直後と比べると、す
ごく成長したな、と感じましたし、課長な
どに直接説明する時も堂々としていて立
派だと思っています。

では、Bさんはどうでしたか？

係員B 私はとても働きやすい環境だと
感じた1年でした！1年目でよく分から
ないこともありますが、困ったときは係
長にすぐ相談できますし、係長との距離
感も近くて安心して働いています。係内
のチームワークも良く、負担に応じて自
然に仕事を分担できていて、助け合いな
がら仕事ができているのがとても心強
いです。

あと、同じ課に3人の同期がいるので
すが、ちょっとした悩みをすぐに相談でき
ますし、毎週一緒にランチに行って、霞が
関周辺のランチを開拓するのも楽しみ
の一つです。

仲間にも恵まれて、日々楽しく働け
ているなと思っています。

係長 同期の存在は大きいですね。私も
1年目の時は同じ係に同期がいて、よく
相談したり、ごはんに行ったりもしてい
ました。そういう相手がいると仕事も格段
にやりやすいですし、モチベーションにも
なりますよね。

Bさんはいつも対応が素早くて、何か
あったときの相談がとても丁寧ですよ

主税局調査課 係長

ね。普通だと大変な時には焦ってしまうこ
ともあると思いますが、Bさんは状況を整
理して自分の意見も交えて相談してくれ
るので、とても助かっています。

係を率いる係長になってみて

係員B 入省前は不安もあったのですが、
もうすぐ後輩が入ってきて、私も先輩に
なるのかと思うと、1年はあっという間だ
なと感じています。

係長は入省4年目に入り、係をまとめ
る立場ですが、係員から係長になる際に
不安とかありましたか？

係長 そうですね、係員の時も後輩に教え
ることはありましたが、「マネジメント」と
はまた違ったものだったので、係長にな
るときにその不安はありました。ただ、い
ざ係長になってみると、係のみんなのお
かげもあって楽しく仕事できています。
係長になると、世界が広がる感覚があ
り、自分たちの係でやっている業務が実
際の大きな政策や政治などにどのよう
につながっていくのかがより見えやす
くなったなと思います。この感覚は大事に
したい部分ですし、係員にも少しでも伝
えてあげられるようにいつも心がけてい
ます。

また、係員にとっては、上司が言いたい
ことが分からないと困ってしまうと思うの
で、端的なアドバイスをするようにしてい
ます。これは後輩とのコミュニケーション
においてだけではなく上司に説明する
ときにも同じで、重要な点を分かりやす
く伝える、という点は特に意識するよう
になりましたね。

あと、自分が積極的に休暇を取ること
で、後輩が休みやすくなればと思ってい
ます！

係員A 係長はとても接しやすく、1年目
で何をしたらよいかわからないことが
あっても必ず丁寧に説明してくださるの



主税局調査課 係員A

で安心して作業ができています。

最初は上司に声をかけることをためら
うこともあったのですが、係長は「いつ
でも相談してね」と言ってくださるので、細
かなことでも相談しやすくとてもありが
たいです。

また、仕事の調整も柔軟にしてくだ
さるので、休暇も取りやすい雰囲気が
あって助かっています。

係員B そうですね、係長がいつも係を明
るくしてくださっているので、私も相談し
やすいのだと思います。どんなに小さな
ことでも係員に寄り添って聞いてくださ
るので、とてもありがたいです。また、局
全体や課の大きな方針を踏まえて、やる
べきことを分かりやすく整理していただ
けるので、すぐに仕事にとりかかると
できています。他の係と連携をする際
に迷ったことがあったのですが、具体
的なアドバイスをいただけたおかげで乗り
切ることができました！

あと、外国調査という仕事にちなん
で、世界各国の料理を食べに行くことが
恒例行事になっています笑。わいわい話
しながらドイツ料理やメキシコ料理を食
べたのがとても楽しかったですね。

財務省で感じるやりがい・ 学生の皆さんへ

係員B 主税局調査課の仕事は社会の動
きやニュースに結びついていて、1年目
から税の在り方を考えるすごく大きな
仕事をさせていただいていると感じていま
す。作成した資料が世の中に公表される
こともあり、責任の重さを痛感すること
もありますが、ドイツ担当として日本の
税制の企画に微力ながら貢献できたこ
とは大きなやりがいでした。

財務省に入る前まではトップダウン的
な面が強いという先入観があったのです
が、実際は全くそうではなく、若手のアイ
デアも根拠やロジックを示すことで、柔
軟に取り入れてくれる自由闊達な雰囲
気があり、とても刺激的でやりがいのある
仕事をさせていただいているなと思っ
ています。

係員A 私も1年目からパリで国際会議に
出席することができ、自分の中で得られ

た学びはかなり大きかったなと思っていま
す。

官庁訪問の際にはフィールドの多さ
や、アプローチできる社会課題の広さに
惹かれて入省を決意しましたが、実際に
主税局で働いて、所得税や法人税などの
税の種類によって対象が異なっていて、
税の世界だけでも本当に様々な分野が
広がっているなと改めて感じています。

まだまだ自分で理解できていない部
分も多いので、より広く学んでいきたい
ですし、来年は後輩も入ってくるので、一
緒に視野を広げていけたらいいなと思っ
ています。

係長 財務省は様々な機会を与え成長さ
せてくれる職場だと感じています。私も
1、2年目は総合政策課で経済分析を扱
うなどの業務に携わり、国際会議への陪
席も経験しました。また、3年目は国税
局に出向し、実際の税務行政の現場も見
ることができました。まだ4年ですが、振
り返ると本当に幅広い経験をできている
なと感じています。

現在の主税局調査課での仕事も、自
分の担当の国を持っているという大きな
責任もありますし、他の係との連携もた
くさんあって簡単な仕事ではないと思う
のですが、日々楽しくやりがいがいっぱ
い。自分の視野は入省前に比べると
本当に広がったなと感じるので、学生の
皆さんもぜひ財務省に関心を持ってい
ただきたいなと思います。

それでは、この辺でランチにでも行き
ましょう！

係員A いいですね！じゃ今日はフレン
チで！



主税局調査課 係員B



働きやすく、成長できる“財務省”

大臣官房秘書課
課長補佐
職員A

大臣官房秘書課
調査主任
職員B

財務省では職員一人ひとりが充実した生活を送り、その能力を最大限に発揮できる風通しの良い職場をつくるため、様々な角度から改革を進めています。より良い職場を目指して改革に携わる二人がユーザー目線で職場環境を語ります。

クラシカルな外観とのギャップ!? 職場環境のアップデートは止まらない!

職員A 財務省の組織風土改革に携わっている、大臣官房秘書課人事企画担当のAです。Bさんは働き始めて2年目だと思えますが、財務省という職場環境について、どう感じていますか?

職員B 財務省は就活生の時に想像していたよりずっと働きやすい職場だと感じています。例えば、私の課には気軽な打ち合わせに使える会議スペースがたくさんあり、自分にとって少し難易度が高い案件も都度相談しながら挑戦することができます。上司との1 on 1 ミーティングや係ミーティングも定期的に実施してもらえるので、安心した環境で仕事ができます。

職員A 確かにオフィス改革も全省的に進み、クラシカルな外観からは意外なほど、働く環境は現代的になってきましたね。働く場所の選択肢が広がり、上司への説明もオンライン会議で可能なので、私も週に1回は家でテレワークをしますし、親しい先輩は自宅近くのサテライトオフィスが便利だと言っていました。

コミュニケーションの話が出ましたが、課長補佐級以上の職員はマネジメント研修を受けています。組織の基本となるチームを率いて政策立案を行う職員として、自分以外の方の力を活かし、チームとしての成果を高めるためには適切なマネジメントを行うことが大切だ、という考え方が、若手の頃から組織全体で共有されていますね。

職員B 加えて、前例踏襲ではなく業務を効率的にアップデートしていこうという意識が組織に浸透しているのを感じます。例えば、私はAIを統計データの整理や説明資料のたたき台作成に使っています。また、業務効率化に資する取組を頻繁に全省メールや広報誌を介して省内で紹介しあうなど、職員それぞれが主体的に働きやすい環境作りに参画しています。

職員の更なる成長を全力サポート!

職員A 財務省には、知的好奇心旺盛な職員の視野を広げ、更なる成長を応援するような取組が豊富にあります(次項参照)。Bさんは何か印象に残っている取組はありますか?

職員B 特に印象的だったのは若手・幹部座談会の取組です。30歳以上年上の幹部と1時間程度じっくりお話しすることができ、数十年後、自分になりたい姿をより鮮明に描くことができ

るようになり、目の前の仕事に対するモチベーションもより高まったと感じています。

また財務省には、1年目職員は年の近い先輩職員がまわりにいる部署に配属されるという伝統があります。1、2年上の先輩職員が伴走型で丁寧に仕事を教えてくれ、財務省で働く上で必要なスキルセットを自然と身に着けることができます。私自身、入省前は、財務省で働くことに知識面や能力面での不安を感じていたのですが、このように手厚い人材育成体制が大変有難かったです。

職員A 役職問わず頼れる先輩がいることはもちろん、財政経済理論研修で学部～大学院入門レベルの経済学を学び、自分の関心分野で第一線の研究者のご指導の下で論文を書ききる経験ができたのも、財務省ならではの思い出です。そうした学術的なトレーニングを受けたうえで海外の修士号を取得すべく留学に行き、高度な学問と語学力を身に付けてから政策立案を担うという育成プロセスが設計されているのは、私が財務省を選んだ理由の一つでもあります。係員や係長時代から英語研修を利用して準備している人も多いですね。

どう生きるか。どう働くか。

職員B 2年前、私が就活生だったときは、「豊かで持続可能な社会作りに貢献したい」という漠然とした思いを持っており、「国の信用を守り、希望ある社会を次世代に引き継ぐ。」という財務省の使命に惹かれて財務省を志望しました。豊かで持続可能な社会の在り方を考えるにあたっては、そこで働く財務省職員の、プライベートを含めた生き方が豊かで持続可能である必要があると私は思っており、柔軟に働くための仕組み(次項参照)が整っていることはとても心強いです。

職員A 確かに共働きのパートナーと協力しながら子育てをしている同世代の同僚は増えてきていますし、私たちの上司も3人のお子さんを保育園に送ってから出勤されていますね。また、省内には保育所や女性用休養室もあり、様々な面で働きやすい環境が整っています。

そうしたニーズが増えるにつれて組織的なバックアップ体制が整ってきており、限りある時間を有効活用していい仕事をし、終わったら自分の時間を楽しむ人が多いです。私も今日は早めに仕事を終えて、友人とバドミントンしてきます!

仕事と家庭の両立支援制度

職員が働きやすい勤務環境や、職員の能力を最大限発揮させる制度が財務省には整備されています。それらの取組の一部を紹介します!



人材育成

【研修】

業務に関連する知識・技能の習得や自己研鑽に資する、充実した研修制度を整えています。

- 財務省独自の新規採用者研修
- 英語研修 ■マネジメント研修
- 財政経済理論研修 ■教養講座 など

【省内セミナー】

キャリアや働き方に関する先輩の経験を共有するセミナーや、ホットな政策の立案に携わる職員の知見を組織全体に共有する勉強会を実施しています。

- 若手職員向けセミナー ■知見共有勉強会 など

【省内コミュニケーション】

仕事の進捗確認や情報共有に加え、課題や悩みを気軽に相談したり、幹部の話を聞いて自身の将来像やキャリアを考える機会を設けています。

- 若手・幹部座談会 ■1 on 1 ミーティング ■係ミーティング など

施設

●サテライトオフィス



自宅とは異なる環境でテレワークすることができます。

●省内保育室(らる保育室)



庁舎内に保育所があり、子どもとの距離が近く、安心して働くことができます。